

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆5月の百貨店売上高、4カ月連続減 免税の購買客数伸び悩む

・日本百貨店協会が発表した5月の全国の百貨店売上高(既存店ベース)は、前年同月比7%減の4356億円で4カ月連続で前年を割った。免税売上高は40.8%減の425億円と3カ月連続の減収。2024年に単月で過去最高だった反動もあり減少幅が大きい。高額消費の一巡などで免税の購買客数が伸び悩んだ。1人当たりの購買単価は37.4%減。

◆スーパー売上高、5月4.6%増 食料品の価格上昇で

・日本チェーンストア協会が発表した5月の全国スーパー売上高(既存店ベース)は前年同月比4.6%増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。加工食品やコメなどの価格が高騰、土曜日が1日多かったことなどから例年よりも売上が伸びた。ただ物価高による節約志向が続いており買い上げ点数は前年を下回った。

◆金融庁7年ぶり体制変更 地銀に照準、監督・検査一体に

・金融庁は監督と検査を一体的に運用する体制に移行する。監督局長のもとに金融機関の検査の責任者である総括審議官を置き、監督局長が検査情報を統括する。足元では大手金融機関の不祥事が相次ぐほか、地方銀行など地域金融機関の再編機運が高まっている。問題の把握や制度のあり方の検討などに素早く対応できるよう体制を整える。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆2024年度「R住宅」前年度比0.8%増 累計8.1万件に

・リノベーション協議会は優良なリノベーションの品質基準を満たす「適合リノベーション住宅(R住宅)」の発行件数を発表。2024年度は全国で6431件(前年度比0.8%増)で、2009年からの16年で累計8万1346件となった。エリア別の発行件数は、首都圏が75.9%を占めた。「R住宅」発行件数ランキングは、大京穴吹不動産が1105件と全国最多。

◆CO2再利用メタン、ガス大手に供給義務 政府「30年度に1%」目標

・経済産業省は都市ガス大手に二酸化炭素(CO2)を再利用するなど実質排出ゼロのガス供給を義務付け。2030年度に供給全体の1%を合成メタンかバイオガスにする目標を定める。調達費用はガス料金に上乗せする。化石燃料の使用を減らしガス事業の脱炭素を促す。今夏めどにエネルギー供給構造高度化法の告示やガス事業法省令を改正。

◆フラット35低調 住宅機構の住宅ローン担保証券、4～6月発行額最低

・住宅金融支援機構によるRMBS(住宅ローン担保証券)の4～6月期の発行額が、同期間として過去最低となった。4月上旬のトランプ関税発表に伴う金融・資本市場の混乱や、超長期ゾーンの国債相場が不安定になったことを受けた投資家の買い手控えが響いた。担保となる固定金利型住宅ローン「フラット35」の貸出額が減少傾向なのも一因。

《 注目商品 》

■リンナイ、イタリアデザインのレンジフード「AGG」シリーズ

・イタリアデザインのレンジフード「AGG」シリーズを発売。イタリアのエリカ社と富士工業の合弁会社であるアリアフィーナのブランドフィロソフィーを踏襲したレンジフード。風量おまかせ運転や、お掃除のしやすい構造により、美しさと機能性を兼ね備える。



■DNライティング、小さく曲がるLEDモジュール「FXCシリーズ」

・曲げ方向が選べる細型フレキシブルLEDモジュールを新しくラインナップ。断面サイズ11mm×11mmの小型で、粒感のない発光面、直線・曲線に沿いながら同じ光量・配光で設置可能な従来品の屈曲性を増し、小さく曲がるように。



■永大産業、省施工の室内階段セット「ササラ桁階段」

・ササラ桁・幅木のラインナップ拡充、標準プレカット対応により階段の省施工化を実現。長尺の直ササラ桁は、14段程度まで1枚で対応。廻りササラ桁は、さまざまな廻り形状(3段・2段・変形2段・均等5段・均等7段・踊り場など)、段鼻芯納め・蹴込み芯納めの両方に対応。

